

自立支援型黄砂発生源対策検討調査費（継続）

1. 趣 旨

- (1) 2000年以降、我が国に飛来する黄砂は急増し、航空機の欠航・遅延や自動車への付着など、我が国に経済上、生活上の被害を及ぼし、環境大臣会合に初め、黄砂問題については、2003年12月の第5回日中韓三カ国環境大臣会合が、2004年12月には黄砂問題に関する日中韓三カ国共通の関心事として行われ、強化する閣僚レベルでの意見交換が「ADB-GEF黄砂対策プロジェクト」の実施が決まり、その中で北東アジアにおける黄砂の抑制に関する地域協力のためのマスタープランが2005年3月に定められており、マスタープランに基づく発生源対策の実施が今後の重要な課題となっている。
- (2) 本事業ではADB-GEFのマスタープランを踏まえ、モンゴルにおける黄砂発生源対策を進めるため、土壌劣化防止に資する職能に着目し、農及び農業農村開発モデル計画の策定、水資源管理、再生可能エネルギー利用技術の向上及び、農地・草地保全管理、水資源管理、再生可能エネルギー利用技術等の技術的課題解決のための実証調査を図り、黄砂発生源対策の着実に実施される。

2. 事業内容

- (1) 土地資源、水資源及び農家経済等農業農村状況把握
(2) 地方行政職員及び農民等への研修及びワークショップ
(3) 土地利用計画、営農計画及び農業農村開発計画のモデル策定
(4) 技術的課題解決のための実証調査
農地・草地保全管理技術(牧養力に応じた草地保全管理、農地の劣化対策)
水資源管理技術(地下水利用、井戸の改修、共同利用井戸の維持管理)
再生可能エネルギー利用技術

3. 事業実施主体等

- (1) 事業実施主体：独立行政法人 緑 資 源 機 構
(2) 補助率：定 額
(3) 事業実施期間：平成17年度～平成21年度

4. 平成19年度概算決定額

57,000(60,000)千円

【担当課(室)：設計課海外土地改良技術室】